

## 平成27年度 あきたスマートカレッジ (報告)

### G : 支えあう文学者たち

講師：生涯学習センターシニアコーディネーター北条常久

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂

【趣旨】文学者が、人と人の支えのなかで、創作活動の道を歩むことを学び、文学への理解を深める講座です。

回	期日	テーマ	参加者数
1	4月23日(木)	『明星』～与謝野晶子・鉄幹と石川啄木	132
2	5月28日(木)	『アララギ』～伊藤左千夫・斎藤茂吉・島木赤彦・平福百穂	130
3	6月25日(木)	『新思潮』～夏目漱石と芥川龍之介・菊池寛・久米正雄	136
4	7月23日(木)	住井すゑと犬田卯と増田れい子	110
5	8月27日(木)	田口掬汀と田口省吾と高井有一～戦争と文学	124
6	9月17日(木)	水上勉と窪島誠一郎	120
7	10月29日(日)	太宰治とたけ	143
8	11月26日(木)	新田次郎と藤原ていと藤原正彦	127
9	12月17日(木)	大江健三郎と光	113
10	1月28日(木)	『白樺』～志賀直哉・武者小路実篤・有島武郎	138
11	2月25日(木)	『種蒔く人』～小牧近江・金子洋文・今野賢三	138
12	3月24日(木)	『歷程』～高村光太郎・宮沢賢治・草野心平・黄瀛	134
合計			1,545名

当センターの北条常久シニアコーディネーターが、文学者相互の関係を取り上げて開催した講座です。毎回多くの方々に受講していただきました。ここでは、11回目の『種蒔く人』について報告します。



今年は『種蒔く人』1921年(大正10年)の創刊から95年目に当たります。小牧近江は若くして渡仏し、アンリ四世校小学部で小学生と一緒に仏語を学びます。小学部の同級生、ピエール・ド・サン・プリの家族を通じてロマン・ロランと親交を得ます。そして、多くの若者が犠牲になった第一次世界大戦を間近に感じ、帰還兵アンリ・バビュルスが始めた「クラルテ運動(反戦平和運動)」にも共鳴します。さらに、レーニンの第三インターナショナル運動が彼の人生に大きな影響を与えます。その頃の日本では『白樺』全盛期で、金子洋文は武者小路実篤に、今野賢三は有島武郎に熱中しています。ベルサイユ講和会議で通訳を務めた小牧近江は外務省勤めとなって日本に帰国し、小学校の同級生であった3人の再会は「クラルテ運動」や「第三インターナショナル運動」を紹介する雑誌『種蒔く人』創刊へとつながります。

様々なエピソードをまじえた、とても解り易いお話でした。